平成２４年６月定例県議会　質問項目一覧表（教育関係）

H24.7.25

月日	質　問　者	項　　目
６月19日（火） 代表質問	自民党 西田三十五議員 （３問） （共管１問）	**７．ちばアクアラインマラソンについて** (1) ちばアクアラインマラソンを盛り上げるための取組みはどうか。 (2) ちばアクアラインマラソンを契機とした千葉の魅力発信をどのように進めていくのか。【共管】 **13. 学校における食に関する指導について** (1) 栄養教諭の配置状況はどうか。 (2) 栄養教諭について、今後どのように配置拡大に向けて取り組んでいくのか。
	民主党 堀江　はつ議員 （５問）	**５．治安・交通安全対策について** (1) 通学路の改善について ア　通学路の交通安全対策について、県としてどのように取り組んでいくのか。 **８．教育問題について** (1) 医療的ケアについて ア　市町村教育委員会が医療的ケアに携わる支援員を配置する際に、県教育委員会はどのような助言をしているのか。 イ 特別支援学校における医療的ケアに携わる教員・看護師の研修回数を増やすべきではないか。 (2) 特別支援アドバイザー事業について ア　特別支援アドバイザーが能動的に幼稚園、小・中学校、高等学校を訪問すべきと思うがどうか。 イ　特別支援アドバイザーの増員を図るべきと思うがどうか。
６月20日（水） 代表質問	公明党 秋林　貴史議員 （７問）	**２．放射能問題について** (1) 除染作業について ア　県立学校の除染の実施概要と着手予定はどうか。 **７．雇用問題について** (1) 障害者雇用について イ　県教育委員会では、法定雇用率の引き上げが予定されている中、どのように取り組んでいくのか。 ウ　県教育委員会は、特別支援学校の生徒の就職を支援するために、どのような取組をしているか。 **10. 文化財保護について** (1) 限られた予算の中で、文化財保護という観点からシロアリ対策にどう取り組んでいくのか。 (2) 貴重な文化財を保有・管理している市町村や大勢の個人の方々に対して、有効なアドバイスをしていかなければならないと思うがどうか。 **12. 居所不明児童生徒について** (1) 居所不明児童生徒について、これまで県教育委員会として市町村教育委員会に対し、どのように対応してきたのか。 (2) 居所不明児童生徒への対応を今後どのように考えているのか。また、関係機関とも連携する必要があると思うがどうか。
一般質問	共産党 加藤 英雄議員 （２問）	**３．内部被ばくから子どもを守る取組について** (2) 給食食材の放射性物質測定器を増やし、今以上の体制強化を図るべきではないか。 (3) 学校給食会として、放射性物質の検査体制を確立するために、県として人的、財政的支援を含め、具体的支援を実施するべきだと思うがどうか。

平成２４年６月定例県議会　質問項目一覧表（教育関係）

H24.7.25

月日	質　問　者	項　　目
前頁の続き	みんなの党 水野　文也議員 （２問）	７．県立図書館について (1) 県立図書館と千葉市立図書館の違いを踏まえ、今後、県立図書館をどう運営する方針であるのか。 (2) 千葉市立図書館との調整や連携をどう進めていくのか。
６月21日(木)一般質問	民主党 髙橋　浩議員 （２問）	３．アクアライン普通車800円恒久化について (3) ちばアクアラインマラソンの協賛金獲得の進捗状況はどうか。 (4) ちばアクアラインマラソンの沿道自治会等への協力要請は進んでいる
	自民党 實川　隆議員 （要望１問）	３．震災対策について 市町村において、津波対策として学校の屋上に、より高い避難場所を増築するなどの嵩上げを実施した場合の補助について、今後、国に支援を働きかけるよう要望する。【要望】
６月22日(金)一般質問	自民党 松下 浩明議員 （２問）	５．子どもの読書活動の推進について (1) 乳幼児の読書活動の重要性について、県教育委員会はどのように考えているのか。 (2) 乳幼児の読書活動を、今後どのように推進していくのか。
	民主党 湯浅　和子議員 （３問）	５．教育問題について (1) 来年度以降の少人数学級について、現状と今後の方向性はどうか。 (2) 昨年の震災で大きな被害のあった香取地域の学校の復旧はどう進んでいるのか。 (3) 教師や子どもの心身に対するカウンセリングについては、どのように取り組んでいるのか。
	自民党 村上　純丈議員 （１問）	６．県は、総合型地域スポーツクラブの創設や活動支援に、どのように取り組んでいくのか。
６月26日(月)一般質問	自民党 斉藤　守議員 （６問）	１．高等学校における教科書採択について (1) 高等学校では、教科書採択はどのような手順で行われているのか。 (2) 県教育委員会は、各高等学校における教科書選定作業について、どのような指導をしているのか。 ３．子育てに関する教育相談について (1) 県教育委員会における教育相談窓口はどのような体制か。 (2) 県教育委員会に寄せられた相談内容はどのようなものか。また、相談対応によって改善が図られたのか。 ４．家族再生について (1) 親子関係の重要性について、県教育委員会ではどう考えているのか。 (2) よりよい親子の関係づくりについて、今後どのように取り組んでいくのか。
合計	３３問 共管１問 要望１問	

平成24年度ちば中学生県議会の正副議長・質問議員等一覧

1　議　長

木更津市立畑沢中学校　　北　岡　道　和

2　副議長

千葉市立大椎中学校　　日　吉　ま　ゆ

3　質問議員

順序	（ふりがな） 学　校　名	（ふりがな） 質問者氏名	質　問　項　目
1	千葉市立松ヶ丘中学校	小　林　将　也	1．今後の千葉県の電力エネルギーについて（商工労働部） 2．幕張メッセ周辺地域の今後の展望について（商工労働部）
2	白井市立七次台中学校	中　山　春　菜	1．土地の液状化被害対策について（防災危機管理部） 2．放射性物質による汚染土壌の処理について（防災危機管理部）
3	志学館中等部	品　川　大　輝	1．千葉県南部地方の地域経済活性化について（商工労働部） 2．成田空港の発展策について（総合企画部）
4	大網白里町立白里中学校	三　橋　諒　子	1．市制移行のメリットとデメリットについて（総務部） 2．圏央道の工事進捗状況と産業振興への効果について（県土整備部）
5	旭市立飯岡中学校	松　本　航　季	1．津波発生時の避難について（防災危機管理部） 2．九十九里海岸の防波堤の設置について（県土整備部）
6	八千代市立東高津中学校	牛　尾　彩　花	1．千葉県子どもサミットの創設と挨拶運動の実施について（教育庁） 2．小中学生による防災マップの作成について（教育庁）
7	松戸市古ヶ崎中学校	山　口　力　輝	1．総合計画における「くらし満足度日本一」について（総合企画部） 2．県内の施設の活用について（環境生活部）
8	野田市立二川中学校	菊池　たまみ	1．自然保護への取り組みについて（環境生活部） 2．伝統文化、無形文化財等の保護について（教育庁）

9	市原市立有秋中学校	本間　秀太朗	1．中学生のボランティア活動について（教育庁） 2．中学生の自転車による交通事故防止について（環境生活部）
10	館山市立房南中学校	田邊　美波	1．学校における津波対策について（教育庁） 2．県南部の少子高齢化対策について（総合企画部）

4　発議案提出議員

船橋市立海神中学校　　町田　拓也

「交通安全の推進による安心して暮らせるちばづくりに関する決議」

5　会議録署名議員

柏市立田中中学校　　佐藤　　連

香取市立佐原中学校　　大崎　同仁

東金市立東中学校　　小高　愛実

交通安全の推進による安心して暮らせるちばづくりに関する決議 ~~(案)~~

平成２３年の交通事故による全国の死者数は、４，６１１人、このうち千葉県は、１７５人で全国ワースト８位と、厳しい状況にあります。

さらに、最近では、千葉県も含め、全国各地で、無謀で危険な運転による痛ましい事故が相次いでいます。

交通事故の原因のうち、飲酒運転や居眠り運転、スピード違反などの悪質で危険な運転は、運転者のルール遵守の意識が低く、その危険性をきちんと認識していないことが大きな問題であると考えます。

また、自動車等の運転者だけでなく、歩行時や自転車の運転時の私たちでも、一方的に被害者となるだけではなく、正しい交通ルールや交通マナーを守らないと、交通事故の加害者となってしまう危険があります。

こうした交通事故をなくすためには、私たち一人ひとりが事故の危険性をきちんと認識し、交通ルールを正しく知って守り、交通マナーの向上を図る必要があります。

そのためには、危険運転などに対する警察の指導・取締りを強化するほか、自転車の正しい乗り方やシートベルトの着用などの交通安全の啓発活動等に、警察や行政、学校、地域の人たちが力を合わせて取り組み、事故を未然に防ぐことが重要です。

一方で、私たちが安心して街を歩けるよう、歩道の整備や道路の改良、信号機の設置など、事故が起こりにくい安全で安心な街づくりを進めていくことも重要なことと考えます。

ちば中学生県議会では、私たち中学生も含め、家庭や学校、職場、地域の人たち、警察や行政など、すべての県民が、協力して、交通ルールやマナーを守るとともに、交通施設の整備を進め、交通事故による犠牲者のない「交通安全県ちば」の実現に向けて、一層努力していくことを、強く希望します。

以上、決議する。

平成２４年６月１２日

ちば中学生県議会